

緊急シンポジウム

どうする原発! どうするリニア!

原発とリニア、この二つは
無縁ではありません!

相模原市に駅誘致2,200億円!

私たちの生活はどうなるの?

講演 **今、原発・福島・リニアを考える!**

荻野 晃也

おぎの こうや

電磁波環境研究所所長

元京都大学工学部講師

シンポジウム

司会

川村 晃生

かわむら てるお

慶応大学教授

リニア・市民ネット代表

報告者

橋山禮治郎

はしやま れいじろう

千葉商科大学大学院客員教授

赤堀

ひろ子

あかほり

ひろこ

生活クラブ生活協同組合静岡 顧問

野元

好美

のもと よしみ

相模原市議会議員



と き 7月18日 (月・祝日海の日) 14時より17時まで (13時30分開場)

と ころ ソレイユさがみ・セミナールーム1

(JR横浜線、京王線・橋本駅北口下車、スーパー・イオン6階)

住所 相模原市緑区橋本6-2-1 シティ・プラザはしもと内

資 料 代 500円

実行委員会 リニア・市民ネット/ガウスネット/全国自然保護連合/みどり・山梨/
JR東海労働組合/学習グループコスモスなど

連 絡 先 東京都東大和市仲原3-10-1-C201 Tel042-565-7478 FAX042-564-8664
リニア・市民ネット事務局 懸樋哲夫

緊急集会・討論会へのご参加を

リニア・市民ネット代表 川村晃生

3月11日に発生した東日本大震災は、福島第一原発事故をも誘発して、いまこの国を震撼させ続けています。大津波による惨禍だけであつたら、犠牲になられた方々には、人の力が及ばぬとしても、それ以外のことについては、何とかこの国の復興の見取り図は描けたかもしれません。しかし、そこに原発事故による放射能の影響がどのように表れるのか未知数であるだけに、今後どのような国の姿を描けば良いのかまだ誰にもわかっていません。

しかし、少なくともこの度の惨劇が、この国も形を変えざるを得ない状況に追い込んでいることだけは間違いないでしょう。原子力によって生み出される過剰なエネルギーを使い放題使って、経済成長だとか利便性だとかを追い求めてきたツケが、いま私たちに回されていることだけは、確信を持って言えるのではないのでしょうか。もう「命よりカネ」路線からは抜け出しましょう。

さて、リニア中央新幹線構想は、その原子力路線に乗っかって進められてきた事業です。建設費、維持費、自然破壊、過剰なエネルギー需要、電磁波など様々な問題を抱えていながらも、ひたすら経済成長と利便性をお題目にリニア計画は進められてきました。そこに大震災が発生しました。「リニアは終わり」と思ったのは私たちだけではないでしょう。ところが、大震災を踏まえた議論がほとんどされないまま、リニア計画はどんどん進められています。大深度地下を通るリニアは大地震が襲っても大丈夫なのか、新幹線の数倍というエネルギーの供給見通しはあるのか、疑問がふくらむばかりであるにもかかわらず、事業者は着工を急いでいます。

この度、菅直人首相は、浜岡原発の一時停止とエネルギー政策の転換を決断しました。そのような状況の中で、原発のエネルギー頼みのリニア計画をこのまま進めて良いものでしょうか。原発を止めたい！リニアも止めたい！この二つの意志を実現させようと緊急集会・討論会を計画しました。一緒に話し合い、大きなうねりをつくりましょう。多くの方々のご参加をお待ちしています。